

事業番号	002
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	総合計画推進事業							担当部	市長公室		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	市政戦略課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	市政戦略係			
	総合計画分野別計画	主目的	7 行政経営		33 行政運営		1 計画・実施・評価が連動した進行管理を行う					
		副目的										
	予算区分	款	2	項	1	目	9	大	1	中	1	
	根拠法令・個別計画											
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	第6次小牧市総合計画を広く市民に周知することを通じ、市民のまちづくりへの関心を高め協働によるまちづくりを推進する。また、計画推進の進捗管理を行い、効果的かつ効率的に計画を推進する。										
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画キャラバンを6回実施した。 ○職員研修や各種講座、地域3あい事業などの地域の集まり等の折に説明する。 ・市民意識調査を実施した。 ○18歳以上の市民3,000人、児童生徒約3,000人 ・小牧市ブランド調査を実施した。 ○選ばれる・魅力あるまちづくりを行うため、市内外対象のインターネット調査(サンプル数1,000)、職員アンケート、庁内ワークショップなどを実施し本市が市内外の住民からどのように見られているのか、本市の強みとなる地域資源は何かなど現状について調査・分析を実施した。 <p>◆24年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小牧市民意識調査委託(966千円) ・小牧市ブランド調査委託(2,999千円) <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小牧市民意識調査委託(2,100千円) ・小牧市地域ブランド研究支援委託(3,800千円) ・印刷製本費(550千円) 										
	受益者負担											

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	2,271	1,669	3,965	6,450	
		正職員	従事者数	人	0.40	0.40	0.50	0.60
			人件費	千円	2,132	2,132	2,665	3,198
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	4,403	3,801	6,630	9,648		
対前年比	%			86.3	174.4	145.5		
財源	一般財源	千円	4,403	3,801	6,630	9,648		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業 績	活動指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	総合計画キャラバン	件	目標	12	15	18	10
			実績	13	9	6	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	総合計画の認知度	%	目標	—	—	40	40
			実績	17	17	14	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成24年度の実施結果									
	事業の達成状況	総合計画キャラバンについては、目標値を達成できなかった。またまちづくりへの関心を高めるための新たなアプローチとしてブランド調査を実施したが市民意識調査の結果における「総合計画」の認知度はやや低下した。								
	事業実施における課題	総合計画キャラバンは、出前講座で依頼のあった場合に実施するなど受身であったため今後は、積極的に地域に出向くなど認知度を高める有効な手法を検討する必要がある。								
	事業を縮小・廃止したときの影響	総合計画推進事業は、まちづくりへの関心度を高めたり、計画の進捗管理を図るために必要である。本事業を縮小・廃止した場合は、計画の認知度の低下や市民との共通の目標、約束事である総合計画の目標値の進捗管理機能が低下する。								
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等) <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりへの関心を高めるため、市民意識調査の設問を精査し、設問数を減らし回答しやすくすることで回収率の向上に努める。 ・自治体経営改革戦略会議での議論や総合計画後期基本計画の策定作業の状況を踏まえ、計画の進捗管理を行う体制や効果的な意識調査の方法の研究を行う。 								
	平成26年度の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <td>方向性の判定</td> <td>維持</td> <td>事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)</td> </tr> <tr> <td>判定理由</td> <td colspan="2">市民のまちづくりへの関心の向上と効率的・効果的な行政運営のためには、今後も継続実施が必要である。</td> </tr> <tr> <td>26年度以降の改善案</td> <td colspan="2">本年度の研究結果に基づき必要に応じて計画の進捗管理を行う体制などを見直す。</td> </tr> </table>	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	判定理由	市民のまちづくりへの関心の向上と効率的・効果的な行政運営のためには、今後も継続実施が必要である。		26年度以降の改善案	本年度の研究結果に基づき必要に応じて計画の進捗管理を行う体制などを見直す。
方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)								
判定理由	市民のまちづくりへの関心の向上と効率的・効果的な行政運営のためには、今後も継続実施が必要である。									
26年度以降の改善案	本年度の研究結果に基づき必要に応じて計画の進捗管理を行う体制などを見直す。									

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。